

三条消防署隊員2名に来校いただき、運動部の部員やマネージャー21人を対象に90分間の救急法講習会を実施しました。心肺蘇生法、AEDの装着、異物除去法など、実技を中心に教えていただきました。最後に、バドミントン部の代表が「このような場面に出会ったときには実践したい。」と感想を述べました。

周囲の安全確認



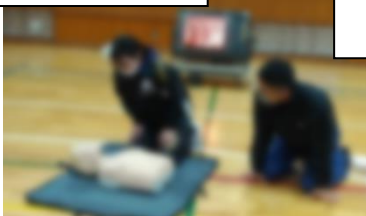
感染症が心配される場合は、基本的に人工呼吸は行いません



救急車が来る前に **できることがあります**



呼吸の確認 胸のあたりをみる(10秒以内)
*呼吸をしているか判断に迷う場合も、心臓マッサージを行う



胸骨圧迫は

- 強** (胸が約5cm沈み込むくらい)
- 速** (1分間に100~120回)
- 絶え間なく** (途中でやめない)

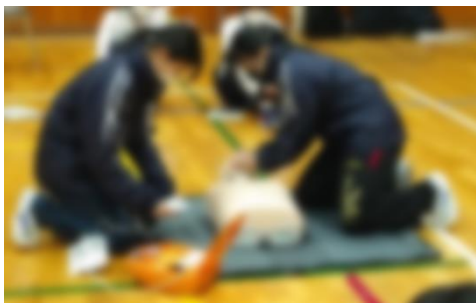


腕は垂直におろす
手の平の下の部分(手根部)で強く押す
指は交互に組むと力が入りやすい

◎人工呼吸ができる場合は【胸骨圧迫30回】+【人工呼吸2回】をくりかえす



心臓マッサージは救急隊員が到着するまで続ける



異物除去法



AED 装着

- *心臓マッサージは止めない
 - AEDの蓋を開く(電源を入れる)
 - 音声ガイドをしっかりと聞く
- パッドをはる
- * ネックレス、湿布、肌がぬれているなど
 - 金属や湿布は、はずす
 - タオルでぬれている部分をふく
 - ペースメーカーの部分にはらない(ペースメーカーの部分は皮膚が盛り上がっている)
- * パッドは粘着力が強いので、修正がきかないので、落ち着いてはる
- * 心臓を挟むようにはる
- AEDが解析、体から離れる
- ショックボタンを押す